

平成30年度危険物事故防止対策論文

危険物保安技術協会

安全で快適な社会づくりに向けて危険物に係る事故の防止に役立てることを目的として、事故防止に係る提案、提言等を広く募集しておりました「平成30年度危険物事故防止対策論文」の消防庁長官賞、危険物保安技術協会理事長賞、奨励賞の著者の方々に対する表彰が、令和元年6月3日（於ホテルルポール麹町）に執り行われました。この表彰は、危険物を取り扱う事業所における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に対する意識の向上を目的とした危険物安全週間の行事の一環として、「危険物安全大会」の中で行っております。

表彰に先立ち、黒田武一郎消防庁長官より式辞が有り、表彰を受けられる皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、そのご功績に対し、深く敬意を表する旨が述べられました。

また、危険物施設における火災及び流出事故の発生件数は平成で最も多い609件となっており、事故を未然に防ぐことが重要な課題となっていること、このためまず現場においてリスクを把握し、適切に操業・維持管理を行うことのできる人材を育成することが必要であり、熟練者の保安に関する知識・技術を伝承しつつ、危険物取扱者の保安講習等による教育の徹底が重要となり、また施設全体リスクアセスメントを適切に行い、企業として保安確保に向けたマネジメント体制を確保することが不可欠であるとの考えであること。そして、本日受賞されます皆様方には、引き続き危険物の保安体制の充実強化に向けて、更なるご活躍と、地域社会の安全への一層のご貢献を賜りますよう心からお願い申し上げます。

続いて行われた表彰式では、危険物事故防止対策論文の各賞の著者の方々が表彰されました。つきましては、危険物の事故防止対策の参考としていただくため、各賞を受賞されました3編の論文をご紹介します。

また、当協会ウェブサイト業務説明の「危険物事故防止対策論文 (<http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/paper.html>)」には、現在までの「受賞論文」をご紹介しますので、併せてご参照ください。



平成30年度 危険物事故防止対策論文表彰記念